

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270901588		
法人名	有限会社ぐるうぶほうむ礎		
事業所名	ぐるうぶほうむ礎		
所在地	船橋市行田3-2-22		
自己評価作成日	令和5年2月28日	評価結果市町村受理日	令和5年4月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	令和5年3月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の関りが真剣勝負であり、住まう方々をお客様として対応するのではなく、生きることに真剣に向き合う一人の人間として接するように努めているのが当施設の特色です。医療、看護、介護が連携して施設で動いており、医療面においては、強みを発揮することが出来る施設ではないかと思えます。当施設の考え方として、“生活そのものがリハビリである”というのがあり、生きるために必要な動作、行動をご利用者様にはお願いしております。スタッフにおいては、“看取りは居宅で”理念に掲げている当施設で実力を発揮していただくよう、積極的に研修や資格の取得を支援できるよう配慮にも努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の優れている点は①介護保険法の目的や憲法25条の理解のもとに、「看取りは居宅で・・家族と共に・・」共に生きる・・自然体・・と独自の理念を掲げ、全職員が深い理念理解のもとに妥協することなく実践している。②地域で生活に困窮された認知症の方を積極的に受け入れ、一人の人間として尊厳を持って接し、入居者と介護者が共に考え、生きるための支援が行われている。③ホーム長が医師であり、看護師が常駐し、介護職は便の性状まで確認するなど「医療を含めた介護」が実践されている。④フラットな組織であり、ケアについて日常的に話し合い、相談し合う職場は、職員は明るく介護のプロとして仕事に誇りと生き甲斐を持っている。⑤利用者の最後まで関わりたいという職員の熱い想いは「看取りは居宅で」の方針通り、利用者・家族の安心につながっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	看取りは居宅で家族とともに企業理念に掲げております。住み慣れた場所で終の棲家になるべく、介護に努めております。	介護保険法の徹底理解のもとに「看取りは居宅で・・・家族と共に・・・共に生きる生活を・・・」等の独自の理念を掲げ、全職員が深く理解し、朝礼時等で日々実践を振り返り、妥協することなく理念を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状では、積極的な連携は取れてはおりません。運営推進会議の場が、地域とのつながりとなっております。交流できる環境の整備に努めていきます。	コロナ禍のため、自治会行事等への参加はなく、散歩時に近隣の方と挨拶を交わす関係が得られている。運営推進会議に地域包括支援センター職員や家族代表等の参加があり、地域との関係作りにも努めている。	当ホームの課題であるが、まずは事業所自体が地域から受け入れられ、地域活動や地域住民との関りを積極的に持つことが望まれる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在ぐるうぶほうむ礎としての対応は、運営推進会議を利用しての情報の発信が主となっております。地域包括様、民生委員様等と情報の共有に務め地域の受け皿となるよう努めております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者のご家族や、地域包括様、民生員様の貴重な意見を現場に反映し、情報の共有に努めております。令和3年度の外部評価は、運営推進会議を利用して行いました。	運営推進会議は家族代表、地域包括支援センター職員、民生委員等の参加を得て2カ月ごとに参集して行われている。昨年度の外部評価は運営推進会議を活用した評価をおこない、会議メンバーから率直な意見を得てサービス向上に活かしている。	運営推進会議を活かした評価の実施と共に、管理者が考えている他グループホーム職員等の参加を得てより良いアドバイスを得る取り組みに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険を利用して住み慣れた地域で生活していくのは、市町村との連携が不可欠です。何か分からないことがあった場合など、施設だけで判断せず、船橋市の担当課に連絡を取るようにして適切な行動がとれるように連携を図っております。	地域包括支援センターとは日常的に連絡を密にとり、当事業所の取り組みを積極的に伝えながら、協力関係が築ける様取り組んでいる。また、地域で生活に困窮した認知症の方を市生活支援課と連携して支援に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0を念頭に置き、全職員が人間の尊厳を冒さぬケアを実践するよう日々努力しております。内部研修・委員会を活用して情報の共有、理念の徹底に努めております。	拘束の前に何ができるか、全職員で日々考え悩み、拘束のないケアの為に代替案を模索している。医療度が高くなり、どうしても拘束が必要な事例において家族等の納得を得て実施後も、再検討を重ね、利用者の人権を守るケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	船橋市の高齢者虐待防止マニュアルを基本に虐待を未然に防ぐよう内部で研修する機会を持っている。書類に目を通すだけでなく、事例検討なども行い理解を深めるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修等にて内容の周知に努めております。現在関わってくださっている後見人の方のあり方なども、実際に携わるからこそわかる話を実践に生かせるよう努力しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	当事業所が大切にしていることや方針もきちんとお伝えしたうえで判断していただくよう誠実な説明を行うよう努めております。必要に応じて、他のサービスを紹介する場合があります。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主に家族会開催の場にて、ご家族の意見や要望を聞くことに努めております。ご家族が面会にお見えの際、時間を作ってお聞きいただきご本人の状況をお伝えしたり、ご家族の意見をお聞かせ願うこともあります。それらを事業所運営に反映させるよう努めております。	運営推進会議の場で、家族会を開催し意見等を気軽に伝えられるような機会を作り、ご家族と生活の現状やコロナ対応等を話しあっている。家族アンケートでは「何一つ問題は有りません、入居者一人ひとりに目が向けられている」と、感謝の言葉が寄せられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼時や、ミーティングの開催などを使って、意見や提案を聴く機会を設けております。即必要だと判断したものに關しては、その場で可決し意見を反映させております。	入居者本人を深く理解し、「共に生きる」を自然に行う支援が実施されている。フラットな組織であり、日常的に会話が交わされ、職員の提案に対しては否定せず、やってみる事を大切にしている。共に考える、職員全員で取り組む、即行動する組織ができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表は、現場の状態を常にアンテナを張って確認をしてくださっています。法改正ごとに、様々な対応を迅速にとり、皆に情報をきちんと与えてくださっています。常に、働き続け易くするための対応を考え、実行に移してくださっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間スケジュールをもとに、内部研修は進んでおります。現場で必要となる資格などには、すぐ対応し、相応しい職員を外部の研修へと送り出せるよう取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度に関しては、コロナの影響もあり殆ど外部研修には参加できていません。代わりにズームでの研修参加など新しい交流の在り方で、サービスの質の向上を図る取組を実践しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	介護保険法第四条をもとにご本人様が、どう生きたいのかを念頭に、ご本人様が助けを得なくては出来ない部分の手助けをするように努めております。”どこを切っても金太郎飴の介護を”を当法人の理念に掲げており、常に一定の水準のサービスを提供できるよう努め、安心を確保できるように心掛けております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族及びご本人様のお話を聞かせていただいたうえで、信頼関係を築くためにも、当施設で出来ることと出来ないことを明確に伝えることを心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設においては、衣食住介護医療の五本柱を掲げ様々なケースに対応できるよう努めて参りました施設です。可能な限りの対応をしますが、必要に応じて我々の施設では叶えられない家族の要望に対しては丁寧に説明し他サービスを提案することもございます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当社の企業理念として“介護保険法の目的を核に”というのがあります。介護保険法第4条を確認しあい、共に生きることを念頭に置き支えあう関係を築けるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	主な場所は、二か月に一回開催しております家族会の場にて、意見交換を交わしております。ご家族の本意を聞き取るように努め、現場で可能な範囲での対応に努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍のため、面会の制限を設けさせてもらっております。主な連絡手段は手紙や写真となっております。	長く入居されている方が多く、馴染みの関係が薄れているのが現状である。家族や知人との電話を取り次ぎ、手紙のサポート、趣味のサークル資料、本、新聞、編み物、通販番組等本人が好きな事や興味を示すことに継続して取り組めるよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	催し物であったり、レクリエーションが豊富といった施設ではございませんが、無理強ひせず自然と生まれてくる利用者様同士の関係性を大切にし、見守るよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	基本的には、サービスが終了後の家族との関りは続いているご家族もおります。施設と家族との信頼関係の中築いてきたものと考えております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、思いを伝えてくださる方もいらっしゃいます。ただ発せられた言葉が、全て正確に表しているとは限らず情報の精査が必要です。皆で情報の共有に努め、その方が、望んでいるであろう意を汲み取る努力をしております。	一人の職員に伝えた「まぶしい」などの小さなひと言を記録に残し、職員同士で話し合い、一人ひとりの思いに副うような支援が行われている。言葉に出して伝えられない利用者の表情を汲み取り、「本人本位」の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様の、能動的な行動を大切に見守り、安全に注意を払いご自分のペースで生活できるよう支援に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	当施設では、毎日のミーティングの実施に加え毎日利用者さんに関するケース会議を実施しております。どんな些細な事でも情報を出し合い共有し合うよう努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	可能な限りにおいて、ご本人の意向を汲み取るための聞き取りを行うように努めております。必要に応じてミーティングを開いたりするなどして、課題と必要なケアを抽出できるよう努めております。	朝礼後に毎日、一人の入居者のモニタリングを行い話し合っている。そのため、全入居者の介護計画の支援方針や状態変化などの情報を全職員が理解し、理念「どこを切っても金太郎飴の介護」のもと、統一した支援が行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常勤職員による、ローテーションシフトで当事業所は対応しているため、職員による情報の共有がスムーズに行きわたることが出来ています。継続すること、見直すこともイメージの共有がしやすくケアの実践に反映させることが出来ていると考えております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	住み慣れた環境で看取りまでを、ご本人と家族とともにすることが当事業所の理念です。ご自宅にいた時のような環境整備を、可能な限り提供できるよう努めていきます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来得る限り、情報収集に努め資源を探すよう努めております。運営推進会議などを使い、家族や有識者の方へ相談をし、地域資源の把握に努め、その人らしさを引き出せるように支援していきます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人が長らくかかれていた医療機関に、出来得る限り継続受診できるよう配慮しております。なお当事業所は、訪問診療が可能なかかりつけ医を、提携医療機関としております。	訪問診療医と連携をしながら、日常的な健康管理が行われている。専門医への通院や緊急時の受診の際は、バイタルサインや日頃の心身状況などを医療機関に伝えるなど適切な支援が行われており、利用者および家族の安心につながっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設の強みとして、看護師が常駐していることです。医療連携に関する加算も取っており、看護師との連携は十分に取れているかと思っております。常に情報の共有には努めており、医療に繋がれるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当事業所では、介護・看護・ケアマネが密に連携を取り合い、情報共有し合っており、迅速な対応ができるよう日々心掛けております。先方のソーシャルワーカー様とも情報交換をして、利用者の不利益にならぬよう努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	基本的には、入居後すぐに本人及びご家族に対して、意思の表明を聞き取りしうえで書面での約束ごとを交わすようにしております。可能な限り、家族と両輪でご本人さんと向き合える関係を築けるよう努力をしております。	看取りは居家で家族とともにを理念に掲げており、職員は生きること真剣に向き合う一人の人間と接するように努めている。日頃より医療、看護、介護の連携強化に努めながら、本人や家族の意向を尊重した看取りが行えるようチームで取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備えたマニュアルを作成しております。日ごろは内部研修を通じて各々知識を得、実戦練習等にてシミュレーションを図っております。今年はコロナの影響で実施できておりませんが必要に応じて、消防に出向き救命講習を受けるようにして質の確保に努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に備えた避難計画をマニュアル作成しております。毎日の朝礼にて初期対応等を踏まえたマニュアルの朗読を行っており、日タイメージを保つよう努めております。防火管理者が主体となり近隣の消防にアドバイスをいただくなどして、より具体性のある対応に努めるようにしております。	年2回の防災訓練においては、通報、初期消火、避難誘導の総合訓練が実施されている。酸素や吸引を必要としている利用者が入居しているため発電機2台も備えている。また、災害時マニュアルが整備され、消火器などの物品管理も徹底されている。	地域での防災訓練実施時には、職員が参加をしながら、協力体制の構築が望まれる。また、BCP(事業継続計画)については、感染症発生時および自然災害時の双方が策定中であるため、完成に期待をしたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇委員会の設置とともに事業所としての最低限度のマナーの維持に努めております。日々においては内部研修を通じてその方の守るべきものをチームとしてきちんと守る努力をしております。認知症の特徴などに留意した言葉かけや対応はプロとして持っていることが必須であると考えております。	職員一人ひとりが、利用者それぞれの認知症と有する疾患について正しく理解をしながら、尊厳をまもることができるよう内部研修の実施や委員会での検討が行われている。声かけに関しても人格を尊重しその人に沿った対応となるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	現状においては、お言葉を発することが難しい方も多く、希望通りの対応が出来ているのか悩むことも多いのが現状です。可能な範囲で日々の介護援助の中ヒントを見出すよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要に応じて美容室などへお連れする方もおります。季節感の失われてしまった方などは、家族の協力を得るなどして清潔で季節に合った身だしなみができるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	積極的なおしゃれへの援助は出来ていないのが現状ではあります。ただ日々の身だしなみには配慮するよう努め、住まう方々が清潔で暮らすことが出来るよう援助に努めております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嚥下の能力を見極めつつ食事の形態を変えながら、その方が食事を続ける楽しみを持っていただけるよう努めております。ご自分で食べていただけるような器や用具などもご本人の様子を見ながら皆で考えて提供しております。食事の準備に関わることができる方は少ないのですが、下膳などを手伝っていただいたりしてもらっております。	必要に応じて訪問歯科診療において嚥下状態の評価を実施しながら食事形態を決定している。また、なるべく自分で食べることができるよう使用するスプーンやコップなども検討が行われた上で、一人ひとりの嗜好や意向に配慮したメニュー提供が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医療職・看護職とも密に連携をとって、個々人の栄養や水分量などを決めております。必要に応じて嚥下機能の評価をお願いするなどして、状態の把握に努めております。飲食量の低下のある方などには、種類や形状を変化させたりする工夫を凝らして摂取していただく支援も行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の状態に応じて、歯ブラシ、歯間ブラシ、スポンジ、歯磨きティッシュなど使い分けてケアに当たっております。訪問歯科診療を取り入れさせてもらいケアに当たっている方もいらっしゃいます。歯科医師の指導等に合わせた個別のケアにも取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	24時間ケアシートにて日々の記録を行う中で、排泄のタイミングを計りつつパターンの把握に努めています。個別のリズムがつかめるまでは食事の前後に排泄を促すようにはさせてもらい、リズムが作れるよう努めております。ご本人の機能を活かし可能な限りで排泄の自立を支援しております。	排泄の時間や性状、量、使用するパットやケア方法が記録された24時間ケアシートを活用して利用者の状態に応じた支援が行われている。可能な限りトイレに行くことや自分でできる動作の継続など職員が連携をして自立支援に向けた取り組みが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	常に介護と看護が連携している施設ですので、個々の利用者さんの体調管理には細心の注意を払いつつ対応しております。飲食物を個々の体調に合わせて提供することも行い、なるべく自然排便できるようまずは務め、医療に繋げていくようにしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の状態に応じて、リフト浴・シャワーチェア・寝たきりの方などには二人対応を行っており、安心して入浴ができるよう努めております。特別な事情の際は昼夜問わず対応しております。浴室には浴室乾燥機器が設置されており時期と状況に応じて、涼風や暖房を入れるなどして快適な環境に努めております	できる限り浴槽に浸かることができるように、一人ひとりの身体状況や体調を考慮し、安全性に配慮した介助が行われている。その効果として、血行や皮膚状態の改善、褥瘡の治癒が見られている。また、湯の温度など本人の意向に沿った介助にも努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	思い思いの過ごし方を皆様しておられます。生活リズムがうまく作れない方に対しては、職員の方から休息の促しをして休んでいただくようにしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	通院及び訪問診療時の医師の指示をきちんと介護職・看護職が共有するよう努めております。服薬準備・内服確認は必ず二人以上でのチェックを行うようにし、誤薬がないよう細心の注意を払っております。毎日の朝礼時に変化の有無等を報告し皆で確認しあうよう取り組んでおります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの情報を本人を含めた、周りの方々にお聞きし行えるものをひとつずつ一緒に見つけていくよう努めております。洗濯物関わりや読書・お化粧・・・一人ひとりの好みや日々の張り合いを提供できるよう取り組んでおります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当事業所敷地内には、季節を感じていただけるような木々や花、果樹等もございます。五感に働きかけることが大切であることを事業所として、意識しての空間作りにも気を配っております。コロナ禍であり、積極的な外出支援は出来ておりません。	敷地内には、多くの草木が植えられており、季節の移り変わりを感じながら、天気の良い日にはリクライニング車いすの方も外気浴を楽しめるよう支援が行われている。また、通院の際の買物やドライブ、馴染みの美容院への外出支援も積極的に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には当事業所ではお金の管理は、ご家族の方をお願いしております。買い物支援は利用者さんとともに職員が付き添い、支援できるように取り組んでおります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話使用することが可能な方においては、外の公衆電話を使用していただくようお願いしております。他の方に関してはご家族の方からお掛けいただくようお願いしております。手紙などは職員がお手伝いをして書くことができるよう支援も行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾りっており、季節を感じていただけるようにしております。温湿度は時間毎に空間のチェックを行っており快適な環境を維持できるよう取り組んでおります。ご利用者の程度反応に応じて採光の調整を行うこともあります。	廊下や食堂などの共有空間においては、職員による温湿度管理が徹底されている。トイレや浴室はこまめな清掃に努め、安全導線について配慮している。食堂のテーブルの上には、常時生き生きとした季節の生花が飾られており、利用者も楽しみにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	作業をしている方や、談笑している方、テレビを見ている方色々な場面が見受けられます。その場所には馴染みの職員がいつもいるようにしており、ご利用者昌への対応にも努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お使いいただいていた持ち物などは、可能な限りにおいて受け入れております。写真やお手紙、お孫さんと一緒に折った折り紙など、その他方独自の居室づくりを支援しています。	利用者の居室は、身体の状態に応じてベッドや椅子、テレビの配置などを検討して安全性と自立支援に配慮したレイアウトとなっている。また、採光の調整等についても一人ひとりに最適な空間となるよう職員全員で意見を出し合いながら、環境づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分で行うことが何より大切。自分の持てる機能を生かして生活していただく何かをご本人とともに発見し生活に取り入れることが出来るよう支援しております。直近では車椅子自操される方のために、廊下に手作りの手すりを作成してご利用いただいたりしております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	当ホーム自体と近隣住民とのかかわりを積極的に持つことが、出来ていない点。	情報発信できる環境を作る事。 地域の方々と交流する場を持つ事。 地域に開かれたホーム運営を行っていく。	地域包括支援センター様と交流を深めていく。 地域の活動には当ホームも出向く機会を持つ。 運営推進会議の周知を行い地域の方にも参加していただけるように広報していく。	6ヶ月
2	3	運営推進会議を活かしきれていない。 参集していただく方法を考える。	運営推進会議を利用して第三者の評価をきちんといただける環境整備。 当ホームの社会資源となり得る方々に参集をお願いする。	同じ市内のグループホーム職員の方々を参集できるよう、代表の方々をお願いをしてみる。 地域の方々には、個別に当ホームがお願いしたいことを伝え参集を促す。	6ヶ月
3	13	当ホームと近隣の方々との協力関係を構築していく事。	地域で開かれる防災訓練などへの参加。 BCP策定し早期に訓練を実施する。 近隣の消防の方の協力を得て、より具体性のある災害対策を行う。	早期にBCPの策定を行う。 地域包括支援センター様と協力し合い近隣の方々との交流を持つ。 消防の方をお招きするかこちらから出向き、当ホームの実情に合った対策を策定する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。